

2019-20 年度 第 5 回研修委員会  
議 事 録  
(2019/12/16)

開催日時 2019 年 12 月 16 日 ( 月 ) 15 : 00 ~ 16 : 30

開催場所 豊岡 ; ファームハウス「のの花」

議事録作成人 委員 武本 正照

次 第

1. 開会 研修委員会副委員長 大内 晋二

2. 出席者

滝澤功治、中村尚義、大内晋二、吉住俊一、矢納利夫、興津博捷、遠藤玄一郎、  
勇正一郎、池信秀明、安行英文、渡會英明、宮本圭介、武本正照、  
富田博重(オブザーバー)

3. 配布資料

1 部 (出席者リスト、次第、前回議事録、2019-20 年度クラブ研修講習会のご案内(案)、  
2019-20 年度 RLI 日本支部会議次第、RLI 実施地区アンケート)

4. 委員会開催趣旨説明 : 研修委員会委員長 滝澤 功治

2 月 1 日 RLI の実践を行います。

目的は RLI をこの地区に浸透する事、そして各クラブにまでも浸透するようになって頂くため、出席対象者は各クラブの研修を担当しておられる会員の方そして会長、幹事、職業奉仕委員長など各クラブで出来れば 2 ~ 3 名の方に出席して頂くようお願いをする。参加希望の方に事前に資料を配布し当日その内容にてフリートークで議論を行って頂くようにします。

皆様にはお配りした RLI 実施地区アンケートをよくご覧になっておいて下さい。

又、開催についての案内の (案) をお目通し下さい。タイトル等何かご意見があればご提案宜しく願います。

タイトルのクラブ研修をカギカッコにするなど色々意見が出ましたが時間がないので皆様の所に案をお送り致しますので改めてご意見下さいますようお願い致します。

5. 中村研修委員会副委員長 職業奉仕について

序：産経新聞より。

今年のビジネスシーンで大きな話題を集めた動きとして、米経済界における「株主第一主義の修正」が挙げられる。

米国の主要経営者で組織する「ビジネス・ラウンドテーブル」が今年8月、株主以外の幅広い利害関係者に配慮した経営の重要性を訴えた。

著名な経営者ら181人が署名した声明「企業の目的を再定義する」などの新聞記事を紹介。

以下の内容にて討論。

① Vocational Service 職業奉仕にはどのようなことが含まれるか。

Vocational Service Vocational training が含まれている (1932年)

倫理、道徳、企業、経営者、従業者、株主、顧客。

最近の話題では、残業代の不払いの企業(ブラック)が多いが、職業奉仕に反するか

② 行政は、文化や教育で飯は食えない。でも文化性や教育レベルの低い町に明日はない。

資本主義は、倫理や道徳では飯が食えない。でも、倫理や道徳のない企業に明日はない。

③ 地区組織の表舞台から「職業奉仕」が消えたが、どう思うか。

④ なぜ、今のRIは「職業奉仕」を片隅におくのか？

⑤ Rクラブは「人を育てる・切磋琢磨・自己研鑽」と言うが、果たして本当か。

それは、どういう時か。

⑥ 自己に於いて、ロータリー哲学は役に立っているか

それは、どういう時か。

5. 滝澤委員長より

2月1日の本番までにもう一度委員会を開催した方が良いとの意見が出ましたので日程を調整し委員会を開催させて頂きたいと思います。

6. 大内副委員長

研修委員会で職業奉仕を高め成長していただき、そこから会員増強に繋げて頂ければと思います。宜しくお願いします。

7. 次回開催日時・場所：未定

8. 閉会

議事録確認日	2020 Jan. 9
ガバナー署名	